



# 非電化工房

もみ すり き  
非電化粉搥機

## 取扱説明書

この度は非電化工房製「非電化粉搥機」をお買い上げ頂き、まことにありがとうございました。

●ご使用前に、「使用上の注意」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。



### 【付属部品】

開梱後はじめに部品の確認を行って下さい。

- ✓ クランプ x 2ヶ
- ✓ シム 0.5mm x 1枚
- ✓ シム 0.4mm x 1枚 (本体に装着済み)
- ✓ シム 0.3mm x 2枚 (本体に装着済み)
- ✓ 米受容器 x 1ヶ



### 【使用方法】

#### 粉搥機のご使用方法

上部のホッパー内に粉を投入します。本体下に付属の容器、または別の米受け容器を設置し、右図の矢印の方向にハンドルを回して下さい。ハンドルを回すごとに少しずつ粉が搥られ、容器内にたまります。(逆回転では粉搥りができません。)

この際、付属のクランプまたは別途ご用意頂いた固定器具等で粉搥機をテーブルに固定して頂くと操作が楽になります。※ 設置面のキズにご注意下さい

また、設置箇所にネジや釘を打っても構わない環境であれば、非電化粉搥機底部の穴を利用して固定して頂くと最も操作しやすくなります。

脱皮率だっぺりつ(粉殻が正しく外れる割合)が十分でない場合、後述のシム調整を行うことで改善されることがあります。

米粒の大きさにバラつきが大きい場合などは、1回では十分に粉殻が除去できないことがあります。その場合は2回以上粉搥りを行って下さい。また、一部の雑穀など粒が非常に小さい穀物はローラー溝に埋まってしまいうため粉搥りができません。ご了承下さい。(これらの雑穀用オプションは開発準備中です。)



## シムの調整方法

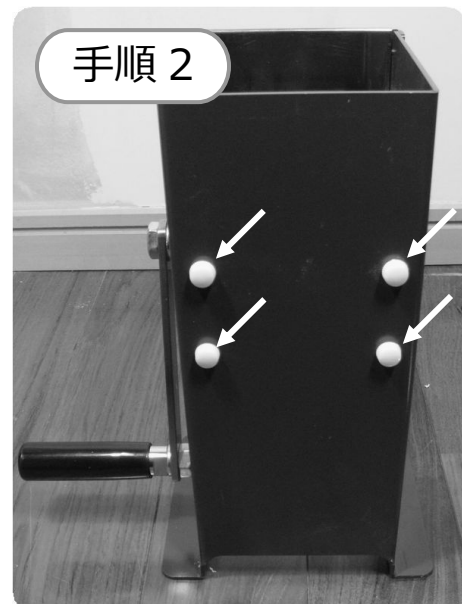
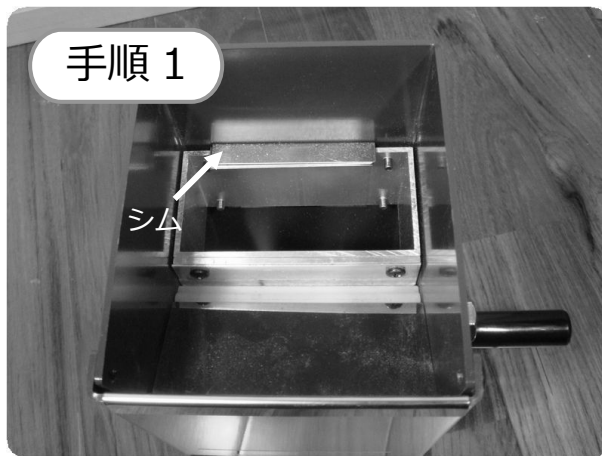
非電化粉摺機ではローラーとパッドの間隔をシムによって調整することができます。粉の大きさや形状、ローラー、パッドの磨耗状態によって最適な間隔は異なります。以下の方法で調整を行って下さい。

手順1 本体後部のホッパーを取り外します。

手順2 本体裏のネジ（4箇所）を緩めます。（取り外す必要はありません）

手順3 パッドホルダーと本体内壁との隙間にシムを追加または取り除き、ローラーとパッドの間隔を調整します。シムを追加するとローラーとパッドの間隔が狭くなり、逆にシムを減らすと間隔が開きます。工場出荷時はローラーとパッドの間隔が約0.5mmになるようにシムがセットされています。付属のシムでは足りない場合、薄い金属板や紙などを利用して下さい。

手順4 手順2で緩めた本体裏のネジを締めなおし、本体にホッパーを元のように被せます。脱皮率が十分改善されない場合はこの手順を繰り返して調整を行って下さい。



## 【メンテナンス】

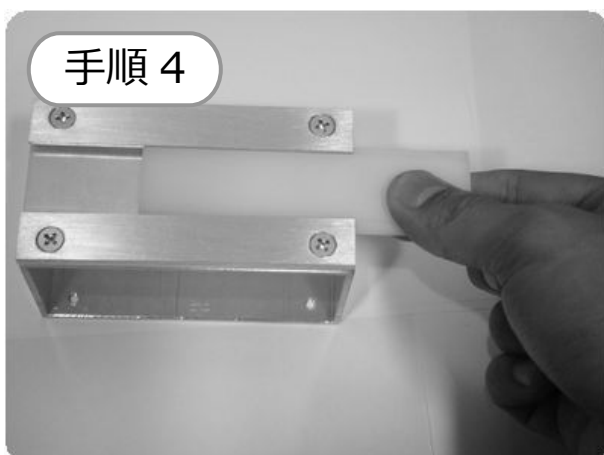
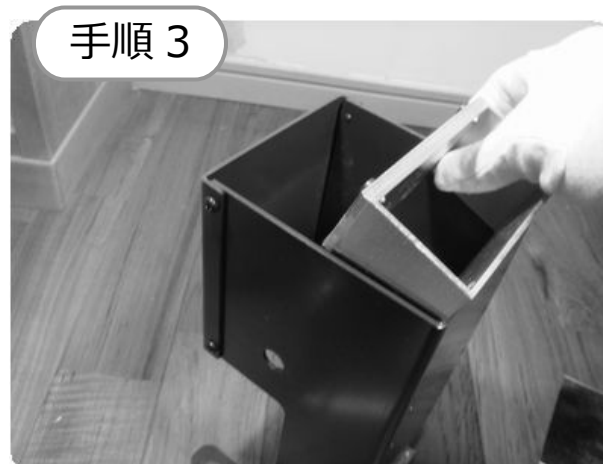
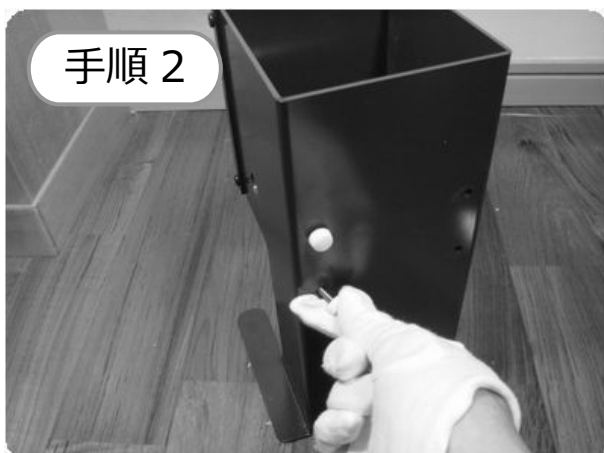
ローラー、パッドは消耗品です。磨耗によって粉摺りが正常にできなくなったらお取替え下さい。ローラー、パッドは必ずしも同時に両方交換する必要はありません。（通常はパッドが先に消耗します。）

交換用のローラー、パッドは非電化工房よりお求め頂くことができます。価格や納期については非電化工房までお問い合わせ下さい。

## パッドの交換方法

ご用意頂く工具 … プラスドライバー (2番)

- 手順1 本体上部のホッパー板を2枚とも取り外します。
- 手順2 本体背面のネジ (4箇所) を外して下さい。
- 手順3 パッドホルダーと本体内壁との隙間のシムを取り除き、続いてパッドホルダーを本体上部から引き上げて下さい。
- 手順4 パッドホルダーからパッドをスライドさせて抜き取り、交換用のパッドに差し替えて下さい。パッドが固くて抜けない場合はプラスドライバーを使い、パッドホルダーのネジを少しだけ緩めて下さい (ネジを取り外す必要はありません)。
- 手順5 パッドホルダーを上部から差し入れ、背面のネジ (4箇所) で固定して下さい。必要に応じてシムを入れて調整して下さい。
- 手順6 手順1で外したホッパー板を元のように被せて下さい。(2枚のホッパー板は同形状なので区別はありません。)



## ローラーの交換方法

ご用意頂く工具 … スパナ 17mm (M10用)

- 手順1 本体上部のホッパー板を2枚とも取り外します。

手順2 片手でハンドルを支え、スパナを使い本体左側（ハンドルと反対側）のナットを外します。

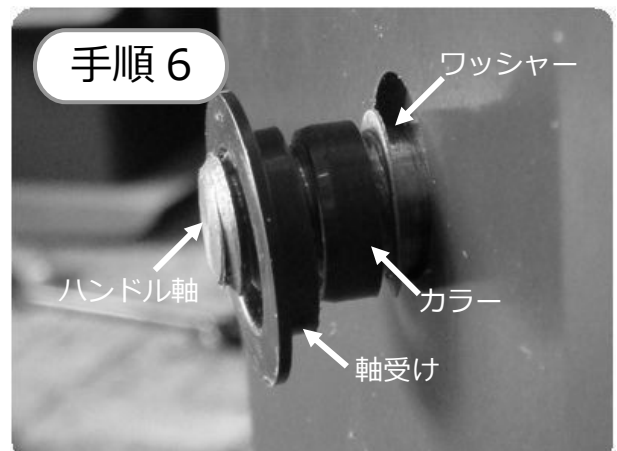
手順3 片手でローラーを支えながら、ハンドルを引き抜きます。この時ローラーの端部に入れているワッシャーが落下することがありますので、紛失しないようご注意ください。ハンドルが引き抜けたら上部からローラーを取り出して下さい。

手順4 本体左側の軸受け、カラー、ワッシャーを取り外します。小さい部品なので紛失にご注意下さい。

手順5 交換用のローラーを本体内で保持し、ハンドルを元のように差し込みます。

手順6 ワッシャー、カラー、ブッシュの順番で、本体左側からハンドル軸穴に通します。

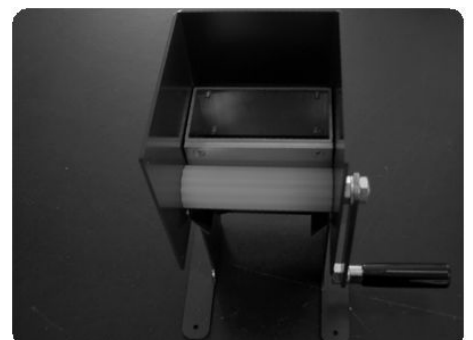
手順7 手順2で外したナットを元のように締め付け固定します。



### 本体正面パネルの取り外し方法

ご用意頂く工具 … プラスドライバー（2番）

上記のメンテナンスが行いづらい場合は、本体正面のパネルを取り外すことで取り扱いがしやすくなる場合があります。プラスドライバーを使い、本体側面に出ている黒色のネジ（左右各2箇所）を取り外して下さい。ネジは少し固い場合がありますので、ネジ山が潰れないようご注意ください。



## 【使用上の注意】

- ✓ **ローラー、パッドに水がかからないようにして下さい。**  
ローラー、パッドはウレタンゴムでできています。材質の特製上、水がついた状態で放置すると変質するおそれがあります。水洗いは避け、また水がかかった場合にはすぐに拭き取るようにして下さい。
- ✓ **設置箇所のキズにご注意下さい。**  
非電化粉搥機をテーブル等に設置してご使用の場合、設置面のキズ、ヘコミが生じるおそれがあります。非電化粉搥機の底面やクランプの接触面にキズ防止用のフェルトやゴム等を貼り付けるなどしてご対応下さい。
- ✓ **指の巻き込みにご注意下さい。**  
使用中ローラー部に指などが巻き込まれないようにご注意下さい。おもわぬケガの原因となることがあります。

## 【仕様】

<b>消費電力</b>	なし	<b>質量</b>	約 2.2 kg
<b>本体容量</b>	約700cc (ホッパー部容量)	<b>標準処理速度</b>	約 6 cc/秒
<b>本体寸法</b>	幅×奥行×高さ 230mm×125mm×265mm (およその寸法 ハンドルを含む)	<b>標準付属品</b>	クランプ 間隔調整用シム 米受け容器